

第21回 和歌山県母性衛生学会 総会・学術集会

日時：令和 6年7月6日(土) 13:00～16:00 【12:20～ 受付開始】

会場：日本赤十字社和歌山医療センター 本館 12階 多目的ホール

〒640-8269 和歌山市小松原通四丁目 20番地

学術集会長：日本赤十字社和歌山医療センター 産婦人科部長 吉田 隆昭

学術集会テーマ：「周産期合併症とその管理」～安全で快適な出産のために私たちができること～

プログラム：

13:00～ 総会

13:25～ 学術集会 開会の挨拶 第21回学術集会長 吉田 隆昭

13:30～ 一般演題 第I群 座長：大東 千晃（日本赤十字社和歌山医療センター）

奥野 友紀（日本赤十字社和歌山医療センター）

1. 不妊治療における在宅自己注射支援～A医療センターでの取り組み～

庄田 倫子（日本赤十字社和歌山医療センター）

2. 産後3～4ヶ月の母親における骨盤底筋訓練の実施に関する報告

吉岡 なつ美（東京医療保健大学 和歌山看護学部）

3. シミュレーション教育を用いた NCPR（新生児蘇生法）の認識の変化

上野山 瑞加（ひだか病院）

4. 特定妊婦への対応と課題～“産み育てる”を支えるネットワークの構築～

松田 沙依（日本赤十字社和歌山医療センター）

14:10～ 一般演題 第II群 座長：溝口 美佳（和歌山県立医科大学附属病院）

吉田 千有紀（日本赤十字社和歌山医療センター）

5. A医療センターにおけるグレードA帝王切開術～院内合同シミュレーションの取り組み～

南出 幸美（日本赤十字社和歌山医療センター）

6. 妊娠後期に発症した特発性腹腔性腹腔内出血の一例

池島 美和（橋本市民病院）

7. 生殖補助医療（ART）と癒着胎盤スペクトラム障害（PAS）、RPOCとの関連についての検討

豊福 彩（日本赤十字社和歌山医療センター）

8. パレスチナ難民キャンプでの医療活動について

春日 摩耶（日本赤十字社和歌山医療センター）

15:00～ 特別講演（60分） 座長：吉田 隆昭（日本赤十字社和歌山医療センター 産婦人科部長）

特別講演 「不妊症の治療」～イマ。ミライ。子づくりの悩みの解決をめざして～

日本赤十字社和歌山医療センター 産婦人科 副部長

坂田 晴美 先生

16:00 閉会

*お車でお越しの方へ：病院北側および東側駐車場をご利用の場合、駐車料金無料券の発行をさせていただきます。

当日、受付でお問い合わせください



参加費 会員：1000円
非会員：2000円
学生：無料

参加申し込みは、左のQRコードからお願いします。

【第21回和歌山県母性衛生学会学術集会事務局】

日本赤十字社和歌山医療センター 本館8A病棟

担当：吉田千有紀、梅田圭子、奥野友紀、大東千晃

TEL: 073-422-4171 (代表) FAX: 073-426-1168 (代表)

E-Mail: sankas@wakayama-med.jp